

田島第二小学校

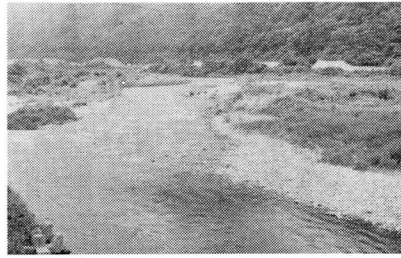
1、川原のようすと流水のはたらき

(1) 観察する場所

大川橋より 200 m 上流の川原

(2) 土手から、川原の様子や水の流れを観察する。

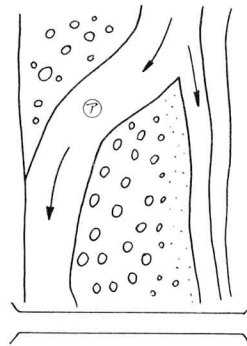
- ① 土手から川の全景をスケッチする。
- ② 川原や川原のふちのけずられている様子、水の流れなど、気付いたことを書き入れる。



- ③ 流れの大きく曲がっている場所で、川原ができているのは、流れの内側か、外側か、また、川岸のけずられているのはどちらだろうか。

(3) 川原において、流水のはたらきを調べる。

- ① ㊦付近で、中州の川原から対岸に進むにつれ、川の深さはどう変わっているかを調べてみよう。
- ② ㊦の場所で、中州の近くと対岸の近くとで、流れの速さがどう違うか、木片などを流して比べてみよう。
- ③ 中州の川原でも、高い場所と低い場所がみられ、それぞれの場所でレキの大きさも違ってきます。どうしてこのような違いができるのか考えてみよう。
- ④ 流れの速さと川の深さ、川原のでき方や川岸のけずられ方との間に、どのような関係があるかまとめてみよう。



(4) 川原のレキを調べる。

川原での砂やレキの積もり方の平均している所を選んで、1 m 四方の方形枠を置く。

この方形枠の中に入っている長径 5 cm 以上のレキを、すべてビニルシートに